

茨城の未来へつながらる 陸・海・空の広域交通ネットワーク



韓国がぐっと近くなる茨城空港、北関東の物流が劇的に変化する茨城港、これらを結ぶ四本の高速道路。今、茨城の陸・海・空の広域交通ネットワークが着実に整備されてきています。

茨城空港から就航!
茨城⇄ソウル便



国が設置管理する空港として、平成二十二年三月に開港する茨城空港。首都圏三番目の空港として開港し、韓国の大手航空会社アジアナ航空の茨城〜ソウル（仁川）便が毎日運航する予定です。さらに開港数カ月後には、茨城〜釜山便も週三便程度の運航が予定されています。現在も、コンパクトで効率的なターミナルビルの特徴などをアピールし、就航便の誘致を進めています。

ターミナルビルは今年十二月に完成予定、ターミナルビル前の千三百台の無料駐車場も供用に向けて工事が進んでいます。高速道路を使って空港へスムーズにアクセス、何日でも無料の駐車場を利用して、茨城発の新しい旅が始まります。



茨城と韓国がぐっと近くなる（アジアナ航空）

茨城県空港対策課
TEL 029(301)2761 FAX 2749

海上物流の拠点
茨城港・鹿島港



昨年十二月二十五日に、日立港、常陸那珂港、大洗港の三港を統合し、「茨城港」が誕生しました。これにより、重要港湾は、茨城港と鹿島港の二港となり、取扱貨物量の全国ランキングは、鹿島港が十七位、茨城港が三十九位（平成十八年統計）に位置し、多くの人に茨城を知ってもらうことにつながります。

また、北関東自動車道の開通により、茨城の港へのアクセスはこれまで以上に格段に良くなります。北関東方面から京浜港を利用した場合と比べ、所要時間、走行距離が短縮され、環境負荷の軽減およびコスト削減が期待できます。



問 県港湾課
029(301)4526 内4538

三県を直結する北関東道
空港・観光地が近づきます!!



北関東自動車道は、群馬県高崎市からひたちなか市に至る延長約百五十キロメートルの高速道路です。



昨年十二月には桜川筑西ICと真岡IC（栃木）間が開通し、茨城県と栃木県が高速道路で結ばれました。これによって、栃木県などからアクアワールド・大洗や国営ひたち海浜公園などの県内観光地を訪れる人が増えています。また、北関東と並行する国道五十号の交通量が減少し、渋滞が緩和するなどの効果も現れています。

現在、東北道と接続する（仮）岩舟JCT（栃木）と（仮）太田桐生IC（群馬）間で工事が進められており、平成二十三年度の中ごろには全線が開通する予定です。全線開通により、茨城・栃木・群馬が一本の高速道路で結ばれ、三県の交流と連携がますます活発化するとともに、茨城空港や茨城港、鹿島港の広域的な利用も進みます。

地域を元気に!!
整備が進む東関東道と圏央道

東関東自動車道水戸線は、東京から千葉を経由して北関東に接続する延長約百四十キロメートルの高速道路です。現在、（仮）茨城町JCT（仮）茨城町南IC間で茨城空港開港に合わせた整備が進められています。また、（仮）鉾田ICと潮来IC間が、今年度新たに事業化されました。

首都圏中央連絡自動車道は、都心から四十〜六十キロメートル圏の地域を環状に結ぶ高速道路です。今年三月までにつくばJCTと稲敷IC間が開通しており、さらに今年度中には（仮）つくばICとつくばJCT間が開通する予定です。これらの高速道路の整備が進むことにより、産業立地の促進とともに交流人口が拡大し、地域活力の向上が期待されています。



整備中の（仮）茨城町ジャンクション

問 県道路建設課高速道路対策室
029(301)4439 内4449

高速バスからつくばエクスプレスへの乗り継ぎで、
東京方面への移動が便利になります!



茨城から東京方面に向かう常磐道利用の高速バス（首都高速道路・八潮PA）からつくばエクスプレス（TX八潮駅）の乗り継ぎ運行が、本年4月1日から本格的に実施されています。これにより、途中の渋滞状況に左右されずに、目的地まで到着できます。乗り継ぎを利用する方には、つくばエクスプレス八潮駅～秋葉原駅間の乗車券（通常450円）を、高速バス内で100円にて販売していますので、ぜひご利用ください。※なお、つくば発のバスルートは対象外です。

乗り換え場所
首都高速道路八潮PAの
降車専用バス停
～TX八潮駅（徒歩約6分）

問 県企画課 交通対策室
029(301)2536

